



## いしまる・のりおき

1940年生まれ。東京大学卒業。同大学院修士課程修了/都市計画(都市形成・計画史)・農村計画・建築計画/工学博士/1989年広島市中区並木通り整備計画・手づくり郷土賞建設大臣賞および2003年東広島市プールパル整備計画・手づくり郷土賞建設大臣賞グループ受賞、2006年日本都市計画学会功績賞受賞ほか

## 選定理由

著者は長崎とともに世界史上初めて原子爆弾が投下され、破壊された広島を取り上げ、戦災復興計画に始まる戦後の平和都市再建、都市形成過程を建築家の参画、活動に積極的な評価を与えつつ論述したものである。

わが国の都市計画史研究において、このような個別都市の計画史は、東京などを除けば、本格的成果はほとんど存在していなかった。また「戦災復興都市計画論」は、その史的重要性にもかかわらず、ほとんど未開拓の状況であった。わが国の戦災都市は首都東京から地方都市に至るまであまねく存在し、現在の都市計画に与えた影響は計り知れない。著者は、なかでも最も大きな被害を受け、根本的な改造を実現した広島という象徴的な都市において、戦災復興都市計画の実態の解明に取り組み、20年にわたり対象に密着して、資料の収集、計画関係者に対する聞き取りなどを地道に行っている。そして、わが国の戦災復興計画研究としても大きな成果を上げ、その後の震災復興都市計画のみならず都市計画史の研究方法に関し大きな貢献をしている。

本論文は12の広島市の戦災復興都市計画にかかわる学術論文を集大成したものである。それぞれの論文で、戦災復興都市計画にかかわる計画思想から始まり、計画制度、計画手法、平和大通りなど具体的な復興都市計画の主要要素、専門家の個別的な役割、市街地復興の実態把握、その後の都市形成と、順を追って詳細な研究を展開し、実態を余すところなく解明している。例えば、本論文のなかに被爆建築疎開事業と復興計画の結びつきについての実証的研究があるが、都市構成の主要素としての建築から都市、都市計画を考察するという著者の研究態度がこれに表れている。

本論文の意義は、第一に「戦災復興都市計画論」の領域におけるパイオニア性であり、第二に、その「広島都市計画史」の研究成果が「現在の広島」へも実践的に大きなインパクトを与えている点、第三に、候補論文はその研究的原点から派生して各種の研究領域(建築家の役割論、嘱託制度論、名護など他戦災都市論)や研究ツール(審議会議事録の解析、米軍航空写真やGIS)などに展開している点であり、ひとつの対象に密着した

成果により、新たな研究方法論を開拓したと言える。

以上、ようするに、本論文は建築家のかかわりを軸として、広島という特異な都市の戦災復興都市計画と都市形成をたどりその実態を解明するとともに、新たな研究分野を開拓し、研究方法論を確立したものであり、建築学・都市計画学の発展に大きく寄与したものである。

よって、ここに日本建築学会賞を贈るものである。

## 受賞所感

本研究の特徴は、広島というひとつの都市と研究的にかかわるなかで、広島に関連し、あるいはそこから派生・展開する多くの課題とも取り組む方向へつながり、そこで成立した一連の研究ということにある。すなわち、広島は単なる一地方都市というのではなく、普遍的なテーマを内包する都市ということであり、当初は都市計画史の分野で広島戦災復興計画の研究に着手し、戦災復興院の嘱託制度、名護市、東京都区部の戦災復興計画へと展開し、一方、広島では戦中の建物疎開事業の実態研究、百メートル道路から平和大通りの変容、平和記念公園の発掘地層、GISによる建物疎開区域の確定といった研究へ、さらには段原地区の再開発研究、大学移転による地域変貌研究へと進み、結果的に都市形成・計画史研究を構成するものとなった。また、都市計画分野をやや超えて広島における建築家に関する研究を、増田清や丹下健三といった建築家の活動内容という概念で把握する試みにも挑戦することとなった。これらは、広島の被爆建物の研究や、建築家による土地利用計画の実態研究という側面も有している。

このように、「広島」「都市形成・計画史」「建築家の活動内容」というキーワードでの取組みが、それなりの結果に到達できたことは、これまでのさまざまな形で多くの方々からのご支援、ご協力いただいた結果と、厚く御礼申し上げます。

思い返してみると、昭和40年代の大学紛争から環境・公害問題、都市問題への矛盾集中という激動の時代に研究職を始めて、石油危機や成長神話の崩壊、各地での大震災発生という都市を巡る枠組みの大転換を経て、景観問題の重視、人口減少といった試練にさらされる時代に身を置き、広島から始めた研究がさらなる新たなテーマとして再挑戦されるべき段階にきており、完成段階にはほど遠いという思いも強くしている。今後ともご叱咤、ご勉強いただきたい。